

いきいき働く

Interview01

仲間の支えを力に 一人一人と接する喜び

箕龍二さん(29)

言葉が励みになる仕事

利 用者の皆さんの食事や入浴、排泄など日常生活全般の介助を担当しています。介護は予定通りいかないことも珍しくありません。大変なこともありますが、一人一人と近い距離で接しているからこそ、やりがいを感じる場面が多くあります。

ある時、休暇を取って数日ぶりに私が出勤すると、利用者の皆さんが「久しぶりだね」と声をかけてくれました。認知症の症状もある中、自分の存在はちゃんと記憶にとどめてくれていた。そんな場面に会えることがこの仕事

の魅力です。

自分の行動次第で目の前の相手が快適に過ごせるかが決まるこの仕事。自分なりの工夫が「ありがたい」という言葉で返ってくると、自分の働きが役に立っていると感じます。

職場の支えが働きたいに

こうして一人一人に向き合えるのは、共に働く職員の支えのおかげです。常にコミュニケーションを取り、悩みを相談できる心強い存在だからこそ、安心して仕事に取り組みます。これからも職員同士で支え合い、利用者皆さんの日常を支えていきたいです。



介助中に声掛けをする箕龍さん

支援を必要とする皆さんの日常をサポートする介護の仕事。担い手不足などの課題がある一方で、人と人との関わり合いがやりがいとなる仕事でもあります。今号では、特別養護老人ホーム常念荘で介護職として働く二人の声と共に、そのやりがいに迫ります。



Topic

働きやすい職場づくりが 認証を受けました

常念荘を運営する安曇野福祉協会は、本年2月1日に長野県から「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証を受けました。これは働きやすい職場環境づくりに取り組む企業への認証制度で、設定されている全3コースを全て取得した同協会は、「アドバンスプラス」として上位認証となり、医療・福祉分野では市内初の上位認証取得となりました。



Interview02

思いをつなぎ その人らしさに向き合う

本田 瑠美奈さん(28)

家族をつないだ計算ドリル

学 生時代はスポーツ中心の生活を送っていました。スポーツに打ち込むため進学した大学では、中学生の職場体験で楽しいと感じた保育園や高齢者施設での体験から、社会福祉を専攻。振り返ってみると、当時は自分の将来を考えていたわけではありませんでした。

私が働き始めた頃は、ちょうど新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていた時期。施設では利用者さんと家族の皆さんの面会を制限しなければならず、私たち職員も歯がゆい思いをしていました。

そんな中、施設で計算ドリルを毎日黙々と解き続ける利用者さんがいました。入居前は商売をしていて、計算が得意だったことを知り、実際に解いたドリルとその姿を撮影した写真を家族に送ることにしました。後日、家族から届いたのは、職員に宛てた手紙と答え合わせをして丸が付いた計算ドリル。「なかなか会うことができず心配したけれ

その人らしい生涯を送るために

常念荘では、施設で人生を終える人もいます。最初は戸惑いましたが、今は常に命と向き合い、寄り添うことが利用者さんの支えになると感じています。元気に過ごしていた人が急変することもあり、油断はできませんが、一

人一人の状況を把握し体調の変化に気付いたら素早く対応しています。どうすればその人が望む環境でその時を迎えられるのか。そのために私はどんな支援ができるのか――。日々考えて仕事に取り組んでいます。

現在は妊娠しているため、皆さんの見守りが主な仕事ですが、出産育児を経てまたここで働きたい。そう思える職業に出会えたことに感謝して、これからもこの場所で自分の可能性を広げていきます。



笑顔で話を聞く本田さん



介護職として働き8年目の箕龍さんと7年目になる本田さん。「利用者の皆さんの笑顔を見て元気をもらうことも多い」と話します

Information

働きがいのある仕事を 探してみませんか



安曇野市ふるさとハローワークでは、求人情報の紹介や就職に関する相談を受け付けています。利用方法などの詳細は上記2次元コードからご覧いただけます。

問商工労政課 TEL71-2041